

## 子どもと性のこと愛のこと 話そう

10代の子どもの親の間では、性的話に限らず、深い内容の会話はしないのが普通です。ですから、このコラムも直接10代の少女に読んでほしい。もちろん親御さんたちも読んで、思春期の子どもと話し合えるようになって頂きたいと思います。

私が最も強調したいのは「望まない妊娠をするな、させるな!」ということ。厚生労働省の調査では、2016年度の人工妊娠中絶総数は約16万8千件で、うち20歳未満が約9%の14,666件を占めています。10代の中絶を行った専門医は「迷っているうちに、『母体保護法』で中絶が禁止されている妊娠22週を過ぎたらどうする?」と、「性教育の必要性」を力説していました。

熊本市の慈恵病院が「こうのとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」の運営を開始したのは2007年5月10日。「ゆりかご」検証会議・専門部会報告によると、2017年5月10日までの10年間に、預けられた赤ちゃんは130人。赤ちゃんの年齢は生

### ◇10◇

## 望まない妊娠はしない!させない!—もしもに備えて自主学習を—

後1カ月未満が最も多い。つまり産んだ直後の育児放棄で、その母親の年齢も10〜20代で過半数を占めています。

こうした現実を解決するには、中学、高校での徹底した避妊教育が望まれます。しかし、現状では(個人指導はしても)ほとんど行われていないですから、10代の少女は自分たちで避妊の自主学習をしましょう。

もしやと思った時の妊娠検査薬、緊急避妊薬ピル、コンドームの正しい装着の仕方など、10代は自分で避妊の知識を身につけると同時に、好奇心や性欲のおもむくままの行為は、相手への人権・害だと自覚してほしいと思います。

